

全体会（10/26）出演者一覧

■オープニングアトラクション



かみひかる いわふねむさしだいこ
上光・岩舟武蔵太鼓
第1回大太鼓世界大会チャンピオン

岩舟武蔵太鼓は、栃木県岩舟町で活動をはじめ36年を迎える。メンバーは7才~70才と幅広い年齢層が日々技術向上に励み、イベントや祭り、和太鼓コンテストなど積極的にチャレンジ。特に、中心的存在の上光は2005年大太鼓コンテストで優勝し日本一となり、4年後の第1回大太鼓世界大会では初代チャンピオンの座を獲得。また、国内の大太鼓コンテストを全制覇し前人未到の11冠となる。現在、後進への指導に取り組み、和太鼓の魅力や可能性を追求し、感動と興奮を与えられるような太鼓打ちを目指している。

■記念講演



講師
たにぐち まゆみ
谷口 真由美
大阪大学非常勤講師 全日本おばちゃん党代表代行 アザレア・スポーツクラブ理事

大学教員のかたわら、2012年に“庶民目線の政治”を訴えるため、Facebook上で「全日本おばちゃん党」を立ち上げ、党員は世界各地で6100名を超える。おばちゃん目線でオッサン政治をチェックし、問題提起を続ける。また2018年『メディアにおけるセクハラを考える会』を立ち上げ、代表となる。2019年から(一社)アザレア・スポーツクラブの理事を務め、女性アスリートの環境改善、子どものスポーツ応援にも力を注ぐ。現在2児の母。

■シンポジウム



シンポジスト
ダイヤモンド☆ユカイ
佐野ブランド大使
とちぎ未来大使

1986年、伝説のロックバンド「RED WARRIORS」のボーカルとしてメジャーデビュー。解散後、「ダイヤモンド☆ユカイ」として、ソロ活動を開始。現在は音楽活動を中心に舞台・映画・バラエティー番組など幅広く活動する。私生活では47歳で男性不妊を乗り越え長女を授かり、不妊治療と夫婦の愛と葛藤の日々を綴った「タネナン。」を発売し大きな反響を呼ぶ。2018年「ベストファザーイエローリボン賞」受賞。現在1女2男の父。



シンポジスト
つかもと
塚本 こなみ
はままつフラワーパーク理事長

会社勤めを経て、造園業の夫との結婚を機に樹木・緑化の世界へ。1992年、女性で初の樹木医となる。1996年、栃木県足利市の「あしかがフラワーパーク」で大藤移植に成功し、多くが男性の職人社会の中で意識改革を図り、2000年園長として経営にも取り組む。2013年「はままつフラワーパーク」理事長に就任。活動を海外に広げるとともに、高齢者の活用、心のケアなども意欲的に行う。地方創生・地域活性化に奔走中。



シンポジスト
ひらの さやか
平野 早矢香
元卓球選手
とちぎ未来大使

栃木県出身。幼稚園の時に両親の影響で卓球を始める。高校卒業後にミキハウスに入社し1年目で全日本選手権を初制覇。さらに2007年度から全日本選手権3連覇を達成し、通算5度の優勝を誇る。また2012年ロンドンオリンピックでは、団体戦にて日本卓球史上初の銀メダルを獲得する。世界選手権は14大会に出場。2014年東京大会では団体戦にて銀メダルを獲得。世界を舞台に活躍を続けるが、2016年現役引退。引退後はミキハウススポーツクラブアドバイザーとして後輩の指導や講習会や解説など卓球の普及活動を行う。



コーディネーター
あつみ なおき
渥美 由喜
㈱東レ経営研究所 ダイバーシティ&ワークライフバランス研究部長

1992年東京大学卒業。複数のシンクタンクを経て、2009年㈱東レ経営研究所に入社。25年間、ダイバーシティ、WLB分野の研究に従事し、国内外の先進企業1050社を訪問ヒアリングし、1万社の企業データを分析。また、コンサルタントとして、実際に企業の取組推進をサポート。官庁の審議会委員等の公職を歴任し、現在、内閣府地域働き方改革支援チーム委員として、主に地方の中小企業の働き方改革を推進するコンサルタントを養成している。

■クロージングアトラクション



ダ・カーポ
佐野ふるさと特使
とちぎ未来大使※榊原広子

いつまでも初心を忘れないようにという意味でダ・カーポ(音楽用語で最初に戻るという意味)と名付け、榊原まさとしと広子のデュオは1973年「夏の日の忘れ物」でデビュー。翌年、「結婚するって本当ですか」で大ヒット。その後「野に咲く花のように」、「宗谷岬」、「よこはま詩集」など数多くのTVの主題歌、キャンペーンソングなどに歌声を響かせている。2018年8月10日、デビュー45周年を迎えた。